



第 23 回日本電気生理運動学会大会 (JSEK2025)

第 11 回計測自動制御学会電気生理運動学部会研究会

【日付】 2026 年 3 月 12 日 (木) ~13 日 (金)

【場所】 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎 1F
シンポジウムスペース

【大会長】 牛山 潤一 (慶應義塾大学環境情報学部)

【共催】 慶應義塾大学総合政策学部, 環境情報学部,
大学院政策・メディア研究科

【協賛】 計測自動制御学会 (SICE)



目次

大会長挨拶	3
協賛企業.....	4
会場へのアクセス	6
インフォメーション	7
一般発表者へのご案内.....	8
プログラム	9
基調講演.....	10
一般発表①.....	11
一般発表②.....	12
学生委員企画／ランチョンシンポジウム.....	13
一般発表③.....	14
大会長企画／学術シンポジウム	15
抄録集	16



大会長挨拶

日本電気生理運動学会（JSEK）は1997年11月に発足し、医学、工学、体育学などの学際領域の研究発表の場と位置づけられており、筋電図や心電図をはじめとした電気生理学的研究手法および身体運動全般を扱う研究者によって構成されています。決して大きな学会とは言えませんが、複数分野の研究者が一同に（ひと部屋に）集まり、基調講演から一般発表までのすべてを完結させるスタイルは他学会とは一線を画すものであり、小規模ながらも、充実した議論が展開されることが大きな特徴です。

JSEK2025では、これまでにJSEK/ISEKで展開されてきた議論を大切にしつつ、大会長である私が主戦場としているMotor Control研究会での潮流にも目配せしながら、どのような場をデザインすれば参加者の皆様が身体運動を科学するための「新たな視座」を探索できるか？そんなことを念頭にプログラムを練らせていただきました。

Motor Control研究会の「生みの親」である関和彦先生をお招きしての基調講演，“伸張反射”をテーマに運動神経科学研究の「温故知新」をめざす学術シンポジウム、そして私の大会運営を支えてくれた学生委員たちの企画によるランチョンシンポジウムなど、実に多様な企画がそろっております。多くの（とくに若手の）研究者の皆様にご一般発表にもエントリーいただき、胸踊る2日間となること間違いなしです。

そして忘れてはならないのが、非常に多くの企業様にご協賛いただいたことです。お力添えをいただけたことに本当に感謝しております。学会場と企業展示場が若干離れておりますが、その分セッション間の休憩時間は多めにとらせていただきました。参加者の皆様におかれましては、ぜひ企業ブースに足をお運びいただき、最新の機器やソフトウェアなど、多くの展示をご覧いただき、未来の研究に向けたコラボレーションの種をお探しいただければと思います。

2日を通して、研究者間交流、研究者－企業間交流をエンジョイいただけることを心から願っております。

JSEK2025 大会長
牛山潤一（慶應義塾大学環境情報学部）

協賛企業

インターリハ株式会社



アーカイブティップス株式会社



キッセイコムテック株式会社

KISSEI COMTEC

株式会社フォーアシスト



株式会社フォーアシスト

株式会社テック技販



株式会社ミユキ技研



会場へのアクセス

- 以下の地図の⑨が「来往舎」です。
（日吉キャンパスの並木道の中程左手にございます）
- 来往舎の1階「シンポジウムスペース」にて学会を、「イベントテラス」にて企業展示を行います。



(<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/hiyoshi.html> より抜粋)

インフォメーション

[1] 受付開始時間

- 3月12日（木）12:30～
- 3月13日（金）9:30～
（場所：来往舎 1F シンポジウムスペース前）

[2] 受付

- 本学会は当日参加を妨げません。
- 受付にて参加証をお受け取りいただき、来往舎内では首からおかけください。

[3] 理事会（3/12 木 11:00～）

- 来往舎 2F の小会議室で開催します。
- 理事の皆さんは、1F シンポジウムスペース前の受付にご集合ください。スタッフが小会議室までお連れします。

[4] ランチョンシンポジウム（3/13 金 12:15～13:30）

- 事前登録をいただいた方にのみ、お弁当をお配りいたします。
- お飲み物については、各自でご準備ください。

[5] クローク

- クロークの準備はございません。
- 企業展示をのぞく全てのイベントがひとつの部屋で開催されますので、お荷物はお手に持たれたまま、学会場にお入りください。

[6] 喫煙

- 慶應義塾大学日吉キャンパスは、受動喫煙防止の観点から敷地内は原則禁煙です。
- 喫煙は、日吉駅周辺の店舗や喫煙ブースをご利用ください。

[7] 撮影

- 学会期間中、会場内での撮影はスタッフのみとさせていただきます、ご参加の皆様による撮影は禁止させていただきます。

[8] ゴミの回収

- ゴミは各自でお持ち帰りください。

[9] 懇親会（3/12 木 18:30～20:30）

- 場所：遊 ZEN たつ吉 (<https://yuzen-tatsukichi.jp/Yuzen>)
- 会費：4000 円
- 事前登録をしていただいた方のみ参加可能です。
- 会費は学会受付にてお支払いいただけますと幸いです。

一般発表者へのご案内

[1] 発表について

- 形式：口頭発表
- 言語：日本語または英語
- 時間：発表 10 分／質疑応答 5 分（時間厳守）
- 発表資料は当日までに準備し，各自の PC を用いてご発表ください。
- HDMI 接続ができる PC／変換アダプターをご持参ください。

[2] スライド投影テストについて

- 発表者の皆様は，イベント間の休憩時間を利用して，スライド投影の事前テストを行っていただくことを推奨いたします。会場係に気軽にお声がけください。

プログラム

	2026/3/12 (木)	2026/3/13 (金)
10:00		10:00~11:45 一般発表②
11:00	(11:00~ 理事会)	
12:00		
	12:30~ 受付開始	12:15~13:30 学生委員企画/ランチョンシンポジウム 紺野大地 先生
13:00	13:00~13:15 開会式	
	13:15~14:30 基調講演 関和彦 先生	(13:30~14:00 休憩)
14:00		14:00~15:45 一般発表③
	(14:30~14:45 休憩)	
15:00	14:45~15:15 企業プレゼンテーション	
	(15:15~16:00 休憩)	(15:45~16:15 休憩)
16:00		16:15~17:50 大会長企画/学術シンポジウム 杉野広堯 先生/伊藤翔 先生 金子直嗣 先生/佐々木睦 先生
17:00	16:00~17:45 一般発表①	
		17:50~18:00 閉会式
18:00		

基調講演

3月12日(木) 13:15~14:30 座長：牛山潤一(慶應義塾大学)

「骨格筋活動を作り出す中枢神経回路」

関 和彦 先生

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
神経研究所 モデル動物開発研究部 部長



【略歴】

1998年 筑波大学大学院医学研究科 修了(医学博士)
ワシントン大学生理・生物物理学部研究員・ワシントン
州霊長類研究所研究員
1999年 ヒューマンフロンティア科学プログラム
長期フェロー
2001年 自然科学研究機構 生理学研究所 発達生理学研究系 助教
2009年 現職

【専門領域】

神経変性疾患
運動制御の生理学

【所属学会】

日本神経科学学会, 日本生理学会,
Society for Neuroscience, Society of Neural control of movement

【主な著書】

「手の百科事典」(朝倉書店, 2017)
「神経科学の最前線とリハビリテーション」(医歯薬出版, 2015)

一般発表①

3月12日(木) 16:00~17:45 座長：岩間清太郎(慶應義塾大学)

16:00~16:15 原 基(東京大学)

「VR環境下におけるアバター手指操作時の指入れ替えが皮質脊髄路興奮性に及ぼす適応的变化」

16:15~16:30 益城 優芽(東京大学, 日本学術振興会)

「高覚醒度情動記憶の想起は下肢運動系の興奮性を高める」

16:30~16:45 國木 壮大(中京大学)

「運動単位数および運動単位タイプ構成と高齢者の縦断的筋力低下の関連」

16:45~17:00 西川 裕一(金沢大学)

「月経周期を通じた運動単位発火パターンの筋固有の変調：外側広筋と内側広筋の対比」

17:00~17:15 井川 快斗(中京大学)

「高密度表面筋電図を用いた運動単位数推定法の確立」

17:15~17:30 関 碧生(慶應義塾大学)

「感覚運動リズムの位相から捉える反応メカニズム」

17:30~17:45 山崎 稜一郎(慶應義塾大学)

「前庭感覚系への電気刺激が音楽リズムへの同期運動を安定させる」

一般発表②

3月13日（金）10:00～11:45 座長：廣野哲也（京都大学）

10:00～10:15 小西 洋佑（東京農工大学）

「テンソル分解を用いた筋疲労過程における多筋特性変調の解析」

10:15～10:30 西川 太智（立命館大学）

「動員閾値に応じた運動単位発火頻度の階層性は高齢者の低・中強度の神経筋系の疲労と関連する」

10:30～10:45 寺部 天翔（金沢大学）

「高密度表面筋電図による筋萎縮性側索硬化症の早期診断に関する研究」

10:45～11:00 中尾 元哉（東京農工大学）

「姿勢安定性と圧力中心-フリーモーメント協調との関係性」

11:00～11:15 荒川 大暉（東京大学）

「不安定面立位における開眼・閉眼条件下でのヒラメ筋・内側腓腹筋の適応的神経筋制御戦略」

11:15～11:30 石山 夏子（慶應義塾大学）

「課題目的に応じた伸張反射のゲイン調整は準備時間によって変化する」

11:30～11:45 岩間 清太郎（慶應義塾大学）

「脳状態の自己調節訓練がもたらす全身運動の反応時間短縮」

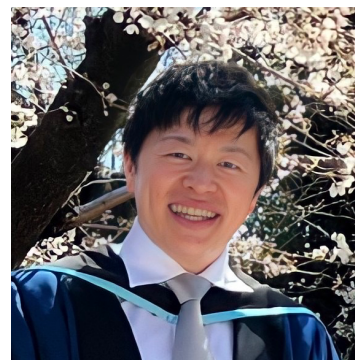
学生委員企画／ランチョンシンポジウム

3月13日（金）12:15～13:30 司会：岩崎健人（慶應義塾大学）

「生成 AI は科学研究をどう変えるのか」

紺野 大地 先生

東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室 薬学部
薬学部研究員



【略歴】

東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室 薬学部研究員，東京大学医学部附属病院 老年病科医師。脳神経科学と人工知能を組み合わせたヒト侵襲型Brain Machine Interface（BMI）研究に従事。科学研究への生成AIの活用にも強い興味を持ち，作製した論文解説AI『Paper Interpreter』は日本製GPTsで世界トップの利用数を誇る。X（旧Twitter）では脳神経科学・生成AI分野での情報発信にも注力しており，フォロワー数は3.8万人超。

【主な著書】

「脳と人工知能をつないだら，人間の能力はどこまで拡張できるのか」（講談社，20121）

一般発表③

3月13日(金) 14:00~15:45 座長：萩生翔大(京都大学)

14:00~14:15 周 景(慶應義塾大学)

「Force Output History Shapes Corticomuscular Coherence during Two-Stage Isometric Contractions」

14:15~14:30 中村 英夫(大阪電気通信大学)

「リズムゲーム実施時における前腕部筋群活動での技能評価」

14:30~14:45 水谷 匠(京都大学)

「反復末梢磁気刺激は筋の深部区画を収縮させることができるか？」

14:45~15:00 大槻 恭平(東京農工大学)

「筋シナジー解析によるゴルフスイングにおける筋活動からの特徴抽出:熟練者と非熟練者の比較」

15:00~15:15 石井 俊寛(東京農工大学)

「柔らかい路面上の歩行動作における筋シナジー解析」

15:15~15:30 郭 金源(京都大学)

「筋長の違いが収縮直後の筋弾性・脊髄興奮性および単刺激誘発張力に与える影響」

15:30~15:45 廣野 哲也(京都大学)

「短縮性または伸張性収縮後の筋細胞外水分変動に伴った筋線維伝導速度の変化」

大会長企画／学術シンポジウム

3月13日（金）16:15～17:50 座長：牛山潤一（慶應義塾大学）

「まだまだ掘れる，伸張反射研究」

- 杉野 広堯 先生
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 助教／後期博士課程
「皮質と皮質下，それぞれの神経伝達経路から掘る伸張反射」
- 伊藤 翔 先生
NTT コミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員
「視覚に基づく身体状態に応じた伸張反射応答の調整」
- 金子 直嗣 先生
（東京大学大学院総合文化研究科 助教）
「感情は脊髄を変調させる：伸張反射ループにおける情動の神経機構」
- 佐々木 睦 先生
（東京大学大学院総合文化研究科 助教）
「Brain-computer interface を用いた侵襲・非侵襲型脊髄ニューロモジュレーション法の開発と臨床応用」

